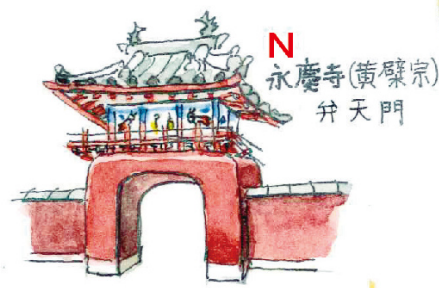
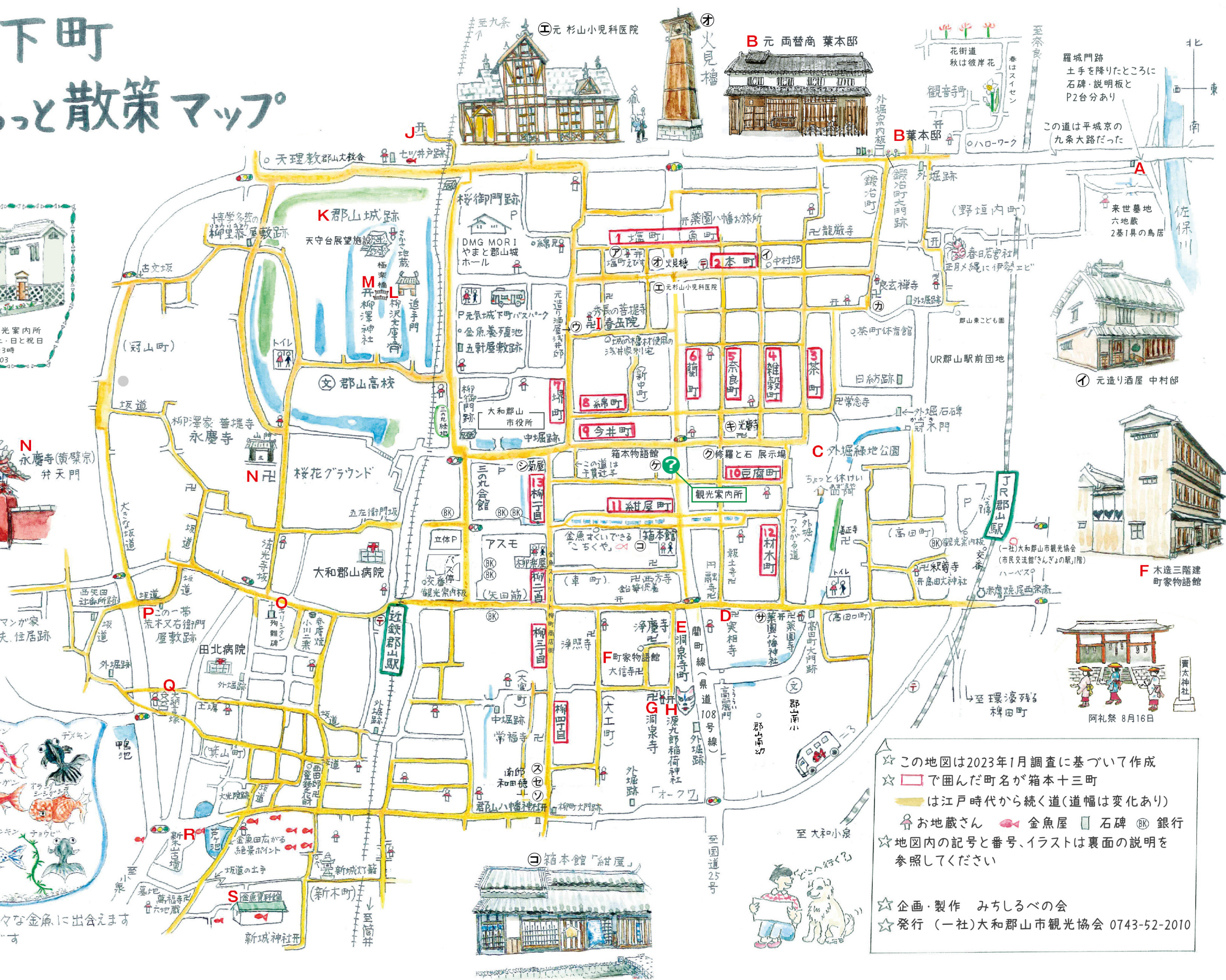


城下町
ぶらっと散策マップ。



S
金魚資料館では色々な金魚に出会えます
☆月曜日は休みです



☆ この地図は2023年1月調査に基づいて作成
☆  で囲んだ町名が箱本十三町
 は江戸時代から続く道(道幅は変化あり)
 お地蔵さん  金魚屋  石碑  銀行
☆ 地図内の記号と番号、イラストは裏面の説明を参照してください

☆企画・製作 みちしるべの会
☆発行 (一社)大和郡山市観光協会 0743-52-2010

郡山城下町散策

箱本十三町の見どころ

郡山の名が文書で確認できるのは、応保2年(1162)の東大寺文書、しかしこの地には和銅3年(710)に平城京ができる前から薬草園(現在の魚町・塩町あたり)を起点として人々が住み、村が形成されていました。

その後、天正8年(1580)、筒井順慶が織田信長から命ぜられ(大和一国知行)、筒井城を破却して郡山城を居城とし大和を平定しました。その時、商人を呼び寄せ城下町を整備しました。順慶没後、豊臣秀吉の弟秀長が、紀伊・和泉・大和三国の太守として百万石で郡山に入部し、さらに大きく郡山城を築き直し、城下町の実備も進めました。

天正16年(1588)には、十三の町が出来上がりました。

茶町・雑穀町・蘭町・綿町・豆腐町・紺屋町・材木町は、職業により集まった町

堺町・奈良町・今井町は、商人の出身地ごとに集まった町

魚塩町・本町・柳1〜4丁目は、郡山に古くから住んでいた人たちの町

秀長は十三の町に特権を与え、町を保護しました(箱本十三町)。その後の郡山城下町では、十三の町が特権を認められる代わりに一ヶ月の当番制で自治活動を行なうという独特な町運営が行われました。当番となった町は、町の特権に関わる重要な文書(免税(地子免除)や営業上の独占権等が記載された特許状等)の入った「御朱印箱」をその町の会所に置き、「箱本」と染めぬいた小旗を立て、郡山町中全体の「治安・消火・伝馬」等の世話を行いました。この城下町運営の制度が、明治維新まで続く「箱本制度」で、郡山は大和の政治経済の中心として栄えました。

1. 魚塩町(うおしおまち 現在の魚町・塩町)

郡山では古い町の一つ。順慶が、筒井城下の商人を移し整備した町で、魚や塩を扱う商人が集まっていた。

㊦塩町恵美須神社

元和9年(1623)の鎮座とされるが、秀長が商家の繁栄を祈願するため建立したとも言われている。毎年1月9、10日に大祭が行われている。

2. 本町(ほんまち)

道幅は他と比べて広く郡山の“もとまち”としての風格のある町。秀長の酒造保護政策により造り酒屋が集まっていた町で、1700年代後半に建てられた町屋が残されている。

①中村邸 屋号ーセキヤ 1780年代の建物。
②浅井邸 屋号ー紅屋 間口7間二列六室型。土間にシモミセがある。

㊦元 杉山小児科医院

大正10年頃の建物。奈良では数少ない大正時代の建物として貴重な存在。18世紀ヨーロッパの都市の民家風建築。平成18年(2006)、登録有形文化財となる。

㊦火見櫓

貞享3年(1686)、町内4ヶ所に建てられた。現在、ここにモニュメントとして設置されている。

3. 茶町

茶を扱う商人が住んでいた町。

㊦良玄禅寺

本多忠勝の孫 政勝の菩提寺。臨済宗妙心寺末。本尊釈迦如来像。芭蕉の句碑「時雨塚」がある。

4. 雑穀町(ざこくまち)

穀物を扱う商人の住んでいた町。

5. 奈良町

奈良から移住した人々が住んでいた町。

㊦光慶寺

浄土真宗本願寺派。本尊阿弥陀如来立像(室町初期)。現在の本堂は宝暦年間(1751〜64)の再建。梵鐘は市指定文化財。境内には明治21年(1888)建立の「郡山初の人体解剖」の記念碑がある。

6. 蘭町(いのまち)

畳表などを扱う商工業者が住んでいた町。

蘭町線(県道108号線)

市の中心部を南北に貫く都市計画道路。全長4.28km。昭和24年(1949)、計画からおよそ60年後の平成23年(2011)3月全線開通した。この開通により、江戸時代のまま残されている狭い道幅による渋滞の緩和や、城下町にふさわしい街並みづくりをめざしている。

7. 堺町

堺の商人を招いた町。

8. 綿町

綿を扱う商人が住んでいた町。江戸時代初期から中期にかけて「郡山繰綿」の名を全国的に広め、一つの時代を築いた。

9. 今井町

今井町(現在の橿原市)から移住した人たちが住んでいた町。

㊦修羅と石展示場

平成29年(2017)のお城まつりで「修羅引き」が再現された。その時使われた「修羅」と「石」が展示されている。

10. 豆腐町

豆腐製造業者が集まっていた町。現在は家屋も大半が建て替えられ静かな住宅地となっている。

㊦箱本物語館

城下町の魅力を発信する一つの拠点として、豆腐町に平成28年(2016)1月に開館した。

11. 紺屋町

染物屋が集まっていた町。道筋の中央に紺屋川が流れており、独特の雰囲気醸し出している。この水はお城の堀から流れ出ており、かつては染めた布や糸を洗っていた。

㊦箱本館「紺屋」

江戸時代半ば頃から続いた藍染め商の町家を、市が改修・再生し、平成12年(2000)、「藍染め体験」「金魚コレクション」などが楽しめる施設として開業した。秀長の特許状(複製)等「箱本制度」に関する資料の展示もある。

12. 材木町

材木を扱う商人が集まっていた町。

㊦薬園八幡神社

創建は奈良時代。塩町あたりに鎮座したが、中世以降に現在地に移ったといわれている。本殿は県指定文化財、幣殿内戸襖は市指定文化財。境内に薬草園がある。

13. 柳1〜4丁目(金魚ストリート柳町商店街)

柳町の名は、南北に長い街並み(柳の葉のように長い)が由来すると言われている。高野街道に沿った町並みで今なお商店街として賑っている。家屋はほとんど建て替えられたが道幅は当時のまま。

㊦菊屋

創業400余年。秀長の茶会に菓子进行献上したという老舗の菓子屋。現在の建物は、嘉永の大地震(嘉永7年：1854)で倒壊した後、まもなく再建されたもの。

㊦南邸

「揚げ店(あげだな)」という古風な構えの残る建物。

㊦元呉服店 和田徳

江戸時代から続く郡山屈指の元老舗呉服店。建物は明治時代に、浅沼組創業者の浅沼猪之吉が設計したもの。

㊦郡山八幡神社

柳八幡とも言う。鎮座は室町時代か。郡山城鎮護の八幡宮であった。また、現在「クラブ神社」とも呼ばれ、野球に関する祈禱、活動も行っている。



箱本十町観光案内所(今井町)
大和郡山市観光ボランティアガイドが
皆様のお越しをお待ちいたしております。

十三町周辺のみどころ

A. 羅城門跡

平城京の表玄関。礎石は佐保川の河川敷きの下にある。晴れた日には、橋上から真北の方向に、復元された朱雀門や大極殿が見える。

B. 葉本邸

町屋の伝統的建築の特徴がよく残されている。平成14年(2002)、登録有形文化財となる。

C. 外堀緑地公園

平成9年(1997)に郡山城の外堀の一部を整備し公園にしたもの。全長580m。市民の憩いの場として活用されている。

D. 実相寺

浄土宗知恩院末。本尊阿弥陀如来像。中井家(徳川家の大工の棟梁)の菩提寺。本堂内陣正面にある扁額は、柳澤信鴻の書(市指定文化財)。鎌倉時代の十三重石塔、室町時代の石仏などがある。

E. 洞泉寺町

表窓に細い格子が入った家や、木造3階建てなど、花街の面影が残る町。

F. 町家物語館

大正13年(1924)に建てられた元遊郭。木造三階建ての建築遺構として貴重なもの。各部屋や廊下の窓に様々な趣向を凝らし、欄間や建具を見るだけでも楽しい。平成26年(2014)、登録有形文化財となる。

G. 洞泉寺

浄土宗知恩院末。本尊阿弥陀三尊像(重要文化財)。

別に五劫思惟阿弥陀像も祀られている。「あかがき地蔵」と「石の湯船」がある。

H. 源九郎稻荷神社

古くは日本三大稻荷の一つ。義経が吉野に落ちのびた時、白狐が静御前を送り届けた話は有名。お城まつりの際「白狐渡御」の行事が行われる。

I. 春岳院

高野山真言宗。大納言秀長の位牌菩提寺。秀長の位牌・肖像画、箱本制度の史料文献等が残されている。

J. 植槻(殖槻)八幡神社

鎮座年代は不明。奈良時代創建の植槻寺と関係があったものと思われる。

K. 郡山城跡

復元された追手門、隅櫓、多聞櫓などが往時を偲ばせる。天守台は整備され展望施設として公開。石垣には、逆さ地蔵、羅城門の礎石など転用石が多い。日本さくら名所100選、続日本百名城にも選ばれ、春にはお城まつりで賑わう。令和3年(2021)に極楽橋が再建され、令和4年(2022)11月、国指定史跡となる。

L. 柳沢文庫

昭和35年(1960)、財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会として発足。郡山城主柳澤家から引き継いだ史料や書物・絵画等を保存、研究し、これらを広く公開するために企画展などを開催している。

M. 柳澤神社

本丸跡にあり、明治13年(1880)、旧藩士達によって創建された。祭神は柳澤吉保(柳澤吉里の父)。

N. 永慶寺

黄檗宗。柳澤家の菩提寺。柳澤吉里が甲府から国替えの時、当地に移築した。山門は、旧郡山城の城門を移築したものといわれている。

O. キリシタン殉難の碑

幕末の頃、郡山藩に預けられた浦上キリシタンのうち六教徒の碑。当初雲幻寺(現在の良玄禅寺)にあったものを移した。

P. 荒木又右衛門屋敷跡

郡山城主松平忠明に剣術師範として250石で召し抱えられた剣豪で、箕山(現在の城南町)に住んだ。寛永11年(1634)、義弟の渡辺数馬の仇討ちに助力し本懐をとげる。屋敷跡と伝わる場所に碑が建っている。

Q. 大納言塚

大納言秀長の墓所。市指定文化財。毎年4月22日に墓前法要が営まれている。

R. 新木丸山古墳(にきまるやまこふん)

郡山新木山古墳とも言う。4世紀末〜5世紀初めごろの前方後円墳。盾形周濠を持つ。陵墓参考地に指定されている。

S. 金魚資料館

昭和57年(1982)、やまと錦魚園が自費で設立。金魚の古書・資料等の収集は貴重。現存する色々な種類の金魚が飼育展示されている。

(みちしるべの会)